

第6回いわき市下水道事業等経営審議会議事録

- 日 時 令和7年11月27日（木）午前10時00分～午前11時10分
○ 場 所 文化センター 2階 中会議室
○ 出 席 者 1 委員

（出席：11名）

飯田教郎、岡光義、金田晴美、河合伸、白石幸一、高荒智子、
橋元一美、蛭田光治、松崎清美、馬目健二、柳澤晋

（欠席：4名）

井上久美子、斎藤隆、鈴木由美、山田貴浩

※五十音順・敬称略

2 事務局

・生活環境部

蛭田部長、七海次長

・生活排水対策室

佐藤室長

・経営企画課

佐藤課長、鈴木課長補佐、

内田経営企画係長、野崎財務係長、渡辺業務係長、

根本主査、草野事務主任

・下水道事業課

国井課長補佐、木田技査

・北部下水道管理事務所

志賀所長

・南部下水道管理事務所

小松所長

- 配布資料
- ・農業集落排水事業の経営について（追加資料）
 - ・地域汚水処理事業経営戦略 中間見直し版（案）
 - ・農業集落排水事業経営戦略 中間見直し版（案）
 - ・答申（案）
 - ・第5回いわき市下水道事業等経営審議会資料

1 開会

2 報告

（前回の議事録について）

第5回経営審議会は非公開での開催となったことから、議事録の市公式ホームページでの公表は、答申後に行う旨を報告した。

3 議事

会長より、本日の議題は「経営戦略中間見直し版（案）」及び「答申（案）」であり、事業経営の根幹に関わる具体的な事項が含まれていることから、公開に当たっては慎重を期すべきものであると考え、本日の会議を非公開とすることが委員に提案され、確認された。

(1) 議事録署名人の選出について

今回の議事録署名人は、会長の指名により、柳澤委員と飯田委員に決定した。

(2) 農業集落排水事業の経営について（追加説明）

- ・事務局説明

(3) 経営戦略中間見直し版（案）について

- ・事務局説明
- ・質疑応答

（委員）

地域汚水処理事業経営戦略の13、14ページについて、令和8年度以降、企業債が計上されているが、この理由について説明願う。

（事務局）

第5回審議会資料の8ページにて説明させていただきたい。

今回、経営戦略を見直すにあたり、資本的支出のうち建設改良費について、大規模な施設更新工事の必要性が生じたため、令和8年度から大きく増加する見込みとなっている。

これに係る資金が必要となるため、7,000万円程度の企業債を発行することで、将来の利用者にも広く負担していただくこととして、経営戦略に反映している。

【会長取りまとめ】

会長より、経営戦略中間見直し版（案）に対して審議会の結論としてよいかの確認が行われ、了承された。

(4) 答申（案）について

- ・事務局説明
- ・質疑応答

【会長取りまとめ】

会長より、答申（案）に対して審議会の結論としてよいかの確認が行われ、了承された。

（会長）

答申のスケジュールについて、事務局より説明願う。

（事務局）

答申時期は、12月23日（火）を予定している。

答申対応者については、会長、副会長の二名で行うのが通例となっている。

【会長取りまとめ】

会長より、答申について会長と副会長での対応でよいか確認が取られ、了承された。

4 その他

(1) 委員意見 (委員)

審議会の運営についてだが、議論の本質的な部分、最終的に取りまとめを行う時間があまりにも少なすぎる。

前半から、会議の進め方の目的意識をしっかりと共有し、取りまとめる時間を、もうちょっと取れるような審議会の進め方にしたほうが良い。

施設見学などは、映像で確認するだけでも十分と思われるため、有効な時間の取り方をしていってもらいたい。

(事務局)

ご指摘のとおり、短時間で皆様に協議いただき、まとめさせていただいたところである。

今後は、皆様に審議いただく時間を、十分確保できるよう努めていきたい。

また、会議の進め方も工夫し、より良く皆さんに協議いただけるよう改善していきたい。

(委員)

農業集落排水事業の経営についての追加資料の中で、審議会委員からの意見の一つとして、「引き上げ幅が大きい」と言うものがある。

私もこれに賛同したが、カッコ書きの中にある「利用者のみに負担増」ということではなく、1回の上げ幅が大きいのではないかという趣旨で私は述べている。

今までではデフレ状態がずっと続いているが、物価も人件費も上がらずに来たため、5年ごとの使用料水準の見直しでやってこられたと考える。しかし、今後は、様々な部分で値上がりが確実になってくると、5年毎の見直しでは、例えば、70%は上げざるを得ないという状況も考えられる。

2回見直して、例えば30%、20%上げるというのであれば、感覚的に理解できるが、一気に上げるというのは、利用者の方に納得感が得られないと思われるため、今後は、検討の期間、スパンを少し短くする必要があるのではないか。

事務局には大変難しい課題だと思うが、今までの社会情勢がガラッと変わってきたため、検討の余地があるのではないかと考える。

(事務局)

ご指摘のとおり、あらゆるもののが値上がりしている中、どの施設も経年劣化していくという状況での対応が必要となる。

そのため、一定程度の期間の中で、料金設定や投資財政計画を立てていくこととなる。

毎年見直すということは困難であるため、一定程度の期間ということで、

5年間の区切りをつけているところだが、今後、社会情勢に応じて、適切に対応していきたいと考える。

(委員)

この審議会で、公共下水道に接続するというケースについては説明を受けたが、合併処理浄化槽に切り替えるという部分については、説明がなかつたと思う。

出来るかどうかは別にして、農業集落排水事業と地域汚水処理事業の二つについて、全部、合併処理浄化槽に切り替えた場合、イニシャルコストは高いかもしれないが、長い目で見れば、市の負担も利用者の負担も減るのではないかと思われる。

今回の審議会では間に合わないが、次の機会に是非、合併処理浄化槽に切り替えた場合のコストは幾らかという試算をしてもらいたい。

(事務局)

合併処理浄化槽への切り替えに関しては、具体的な数字はまだ提示していないところである。

附帯意見を頂いたところであるため、今後、選択肢の一つとして検討していきたい。

(2) 事務連絡

答申内容の公表については、12月23日の答申後に、市公式ホームページ、報道機関への情報提供により、答申内容を公表予定。また、農業集落排水事業については、使用者全世帯に対し答申内容の個別通知を予定。

経営戦略中間見直し版の公表の流れについては、今後、パブリックコメント等の手続きを経て、本年度中に公表予定。

今後の審議会の開催等については、改めて連絡する旨を案内した。

5 閉会

以上